

# 日本看護学教育学会 二重投稿・分割投稿についての Q&A

2025 年 7 月 25 日作成

はじめに

この Q&A は、日本看護学教育学会編集委員会が作成したものであり、「一般社団法人 日本看護系学会協議会論文投稿ハンドブック ver.1」（以下、ハンドブック）を参照して記載しています。詳細は、下記のハンドブックをご参照下さい。

<https://www.jana-office.com/file/handbook2021.pdf>

\*\*\*\*\*

## 1. 二重投稿についての Q&A

### Q1. 二重投稿とは何ですか。

言語の違い、著者名の違い、媒体である印刷物や Web 上の公開の違いを問わず、他の出版物等にすでに発表あるいは投稿されている論文と本質的に同一の論文を複数作成して異なる雑誌等に発表あるいは投稿する行為を「二重投稿」としています。二誌以上の学会誌・商業誌等に同時期に同一の論文を投稿することもあてはまります。

### Q2. 二重投稿はなぜいけないのですか。

第 1 に、「二重投稿」が行われると複数の学術誌が気づかぬまま同一論文を掲載してしまうことになり、重要視されるべきオリジナリティが失われてしまいます。第 2 に、掲載された論文の著者には通常その著作権を学術誌に委譲することが求められますが、二重投稿の場合、著作権の委譲先が複数存在するという事態が起きてしまいます。第 3 に、複数の学術誌の査読者や編集委員会が同一原稿の査読と編集を行うという不要な時間とエネルギーを費やすことになります。最後に、研究業績の不当な水増しにつながる可能性があります。くれぐれも複数の学術誌への同一論文の同時投稿は慎んでください（ハンドブック p.2 より引用）。

### Q3. 学位論文(卒業論文・修士論文・博士論文)としてまとめたものを論文として投稿することは可能ですか。

卒業論文・修士論文・博士論文（機関リポジトリ等に全文公開済みの論文は除く）を加筆・修正して論文投稿した場合は、通常、「二重投稿」とはみなされません。ただし、すでに学会発表や抄録集等により公表している場合は、本文とカバーレターの両方にその旨（学位論文であること、公表先など）を明示する必要があります。（本文へ記載する場合は電子投稿システムの「謝辞」に記載して下さい。）

### Q4. 学位論文が機関リポジトリに公表される予定です。先に公表されていても投稿は可能ですか。

機関リポジトリ等に全文公開済みの場合は、二重投稿にあたりますので投稿できません（Q1 も参照して下さい）。

**Q5. 本学会誌で公表した論文を異なる言語に翻訳し、別の雑誌に投稿してもいいでしょうか(海外の言語の論文を日本語に翻訳する場合も含む)。**

本学会で公表された日本語の論文を異なる言語に翻訳して他の学会誌に投稿することはできません。他の学会誌に投稿された日本語以外の論文を日本語に翻訳し本学会に投稿することもできません。

本学会では、質の高い研究成果を国内外に広く公開することを目的に、言語の異なる読者層に向けた二次出版論文のあり方について慎重に協議を重ねている段階です。

したがって、現時点では原則禁止としますが、今後の協議において変更することもありますので、まずは、編集委員会に相談して下さい。

**Q6. 複数の雑誌に同時に論文を投稿し、最短で採択された学術誌以外の学術誌に辞退を申し出ようと考えていますが、問題ないでしょうか。**

ある学術誌に投稿した論文を、その採否が決まらないうちに他誌に投稿することは二重投稿にあたりますので投稿できません (Q2も参照して下さい)。

**Q7. 研究助成を受けたので学会で発表し、その後報告書を作成しました。この場合、論文投稿は可能でしょうか。**

科学研究費等の研究助成金報告書、事業報告書、学会学術集会・研究会の抄録集などで発表した研究を加筆・修正して論文投稿した場合は、通常、「二重投稿」とはみなされません。抄録集や報告書の場合には、すでに学会発表あるいは報告書として公表したものであることを明示する必要があります (ハンドブック p.2 より引用)。(本文へ記載する場合は電子投稿システムの「謝辞」に記載して下さい。)

**Q8. 商業誌で研究活動を取り上げていただき、記事が掲載されました。この場合、論文投稿は可能でしょうか。**

商業誌/情報誌/ニュースレターの紹介記事などで発表した内容を大幅に加筆・修正して論文投稿したい場合は二重投稿とはみなされません。ただし、商業誌等で掲載された内容であることを明示する必要があります (ハンドブック p.2 より引用)。

**Q9. 学術集会で発表した研究のタイトルと同じタイトルで投稿する場合は二重投稿にあたるのでしょうか。**

学術集会で発表した研究は抄録が公開されますが、通常「二重投稿」とはみなされません。しかし、誤解を招く恐れがありますので、学術集会にて発表した旨を本文およびカバーレターに示していただく必要があります。(本文へ記載する場合は電子投稿システムの「謝辞」に記載して下さい。)

**Q10. すでに公表されている論文のデータを再分析し、違う結果・考察で投稿したいです。結果を分かりやすくするため、図表を再度掲載してもいいでしょうか。**

図表そのものを新たに自分の論文に掲載したい場合は、著作権を有する出版元の許諾を得て、引用を明確にする必要があります。自分の論文であっても無断で転載することはできません。出版元にお問い合わせの上、本学会編集委員会にもご相談下さい。

## 2. 分割投稿についての Q&A

### Q1. 分割投稿(サラミ投稿)とは何ですか。

本学会は、一回（または一連）の調査あるいは実験等から得られたデータを必然性のないまま複数の論文にして投稿することを分割投稿（サラミ投稿）としています。例えば、単に文字数制限を超えるから、業績としての論文数を増やしたいからといった理由は必然性がないとみなされます。最初から複数の目的をもって研究を計画し、それぞれの目的に沿って結果および考察を論じる場合は、複数の論文が必要となり、分割投稿となりません。ただし、研究に複数の段階がある場合は同時に複数投稿することはせず、まず1本のみ投稿し、それが採択されたら、その論文を引用文献として用い、本文中に「こういう理由で分割して複数の論文にした」と正当であることがわかるように記載してください（ハンドブック p.3 より引用）。

また、論文内および編集委員会へのカバーレターの双方に、一回（または一連）の調査あるいは実験等から得られたデータを、視点を変えて分析した結果をそれぞれ論文にしていることを明確に示してください。判断に迷う場合は事前に本学会編集委員会にお問い合わせ下さい。

### Q2. 分割投稿(サラミ投稿)はなぜいけないのですか。

安易な分割投稿は、研究結果の解釈をゆがめることにつながる可能性があり、文章も重複し酷似しがちになり、自己剽窃（ひょうせつ）・自己盗用の危険性も高まります。また、単なる業績稼ぎと解釈されれば、自身の評判を落とすこととなります。さらに、類似した論文の査読と編集という不要なことに、複数の学術誌の査読者や編集委員会が多くのエネルギーや時間を費やすこととなります（ハンドブック p.3 より引用）。

### Q3. 長期にわたる大規模調査のため、異なる目的の研究が複数存在します。論文を複数に分けて投稿してもいいでしょうか。

分割して投稿する必然性・有用性等を報告して下さい。本文には、「本論文は▲▲▲の大規模調査のうちの一部についての分析である」などと具体的に示して下さい（ハンドブック p.3 より引用）。それぞれの論文は研究目的が異なることが必須です。また、カバーレターでの報告も必要です。本文とカバーレターでの報告の内容は Q1 をご参照下さい。

### Q4. 同じ対象者への一回(または一連)の調査から得られたデータを、視点を変えて異なる分析をしました。その結果を論文にしたいです。

同じデータセットを用いても、異なる研究仮説、異なる目的、異なる分析等であれば投稿可能とします。分割して投稿する必然性・有用性等を報告して下さい。本文には、「今回の調査では、○○○、×××、△△△についてデータ収集したが、本論文においては、●●を目的に、○○○と×××の関連について分析した結果のみ報告する」など記載して下さい（ハンドブック p.3 より引用）。この場合も研究目的が異なることが必須です。

また、カバーレターでの報告も必要です。本文とカバーレターでの報告の内容は Q1 をご参照下さい。

**Q5. 学位論文の内容を2～3本に分けて投稿したいです。同時に投稿しても問題ないでしょうか。**

博士論文のように目的の異なる複数の研究が存在する場合、研究結果をそれぞれに分けて投稿することは分割投稿にはあたりません。ただし、研究に複数の段階がある場合、2編目は必ず1編目が採択されてから投稿して下さい。本文には、(〇〇ら, in press) と記し、1編目の内容を適切に引用しながら論文を記載して下さい。1編目が採択された場合は公表前でも2編目を投稿できますが、カバーレターでその旨を報告して下さい。異なる内容でも1編目が採択される前に同時に投稿することは二重投稿にあたりますので注意して下さい。

**Q6. 論文を複数に分けて投稿したいのですが、研究背景が同じ内容になってしまいます。投稿してもいいでしょうか。**

自分が書いたものであっても、すでに公表されている内容をあたかも新しい著作物として示すことは自己剽窃(ひょうせつ)・自己盗用にあたります。分割して投稿する意味があるのかをよく考えて下さい。新しく書かれる論文や記事では、以前公表した記事を適切に引用しつつ、その論文独自の内容や新しい知見を記載して下さい(ハンドブック p.5 より引用)。

**Q7. もとは一つの研究でしたが有益なデータが豊富に得られ、重要な結果が複数抽出されました。論文を1編にまとめることは困難なので複数に分けて投稿してもいいでしょうか。**

研究の性質によっては重要な結果(テーマ)が複数抽出される場合があります。分析結果やその解釈にそれぞれ重要な意味があり、1編の論文にまとめるのが難しく、複数に分けて論文を投稿したい場合は、それぞれの論文が扱う主題・テーマの違いと、複数にわけて投稿する旨を論文とカバーレターの両方に明確に表記していることが必要になります。本文とカバーレターでの報告の内容はQ1をご参照下さい。

**附則**

・この規定は2025年7月25日より施行する。

日本看護学教育学会 編集委員会

二重投稿・分割投稿についての Q&A ワーキンググループ構成員

氏名	所属
水戸優子	神奈川県立保健福祉大学
澁谷幸	神戸市看護大学
砂見緩子	帝京大学
服部美香	群馬県立県民健康科学大学
宮芝智子	神奈川県立保健福祉大学
渡邊恵	神奈川県立保健福祉大学

日本看護学教育学会 編集委員会 構成員

氏名	所属
※水戸優子	神奈川県立保健福祉大学
○三浦友理子	聖路加国際大学
上田貴子	三重県立看護大学
宇城令	愛知県立大学
太田祐子	関西医科大学
小山田恭子	聖路加国際大学
勝山愛	大阪公立大学
北島洋子	岐阜医療科学大学
合田友美	千里金蘭大学
澁谷幸	神戸市看護大学
砂見緩子	帝京大学
高橋有里	岩手県立大学
長島俊輔	神奈川県立保健福祉大学
服部美香	群馬県立県民健康科学大学
牧野美幸	淑徳大学
松田光信	大阪公立大学大学院
水野照美	佐久大学
宮芝智子	神奈川県立保健福祉大学
吉田澄恵	東京医療保健大学
渡邊恵	神奈川県立保健福祉大学

※委員長 ○副委員長